

電話対応技能検定(もしもし検定)4級試験のご案内

ビジネス電話対応の検定試験として実施している電話対応技能検定(もしもし検定)について、事前に受験講座を受講しなくても、筆記試験のみ(実技試験無し)で受験できる4級試験を以下のとおり実施します。お客さまから信頼と好感を得られる電話対応スキルの向上に向けチャレンジをお待ちしています。

1. 受験日時 平成31年2月6日(水) 13時～(試験時間は40分)
(2級筆記試験と同一会場で実施します)
2. 受験場所 NTT基町ビル(広島市中区基町6-77)
3. 受験資格 どなたでも受験いただけます。
4. 筆記試験概要 ビジネス電話対応に必要なコミュニケーションの基礎知識
 - ・マークシート方式 20問
 - ・7割以上の得点を合格
 - ・出題範囲(3級筆記試験と同レベル)教養ある社会人として欠かせないマナー、話し言葉・聴くこと・話すこと・気遣うこと、敬語と言葉遣いの基本、発声・発音の基本、様々なコミュニケーションツールと電話メディアの特徴、個人情報保護法(概要)、電話対応の基礎、電話の受け方かけ方、取次ぎ、伝言
5. 検定料 1,080円(税込)
6. 申込方法 別紙申込書に必要事項を記入のうえ、FAXで1月11日(金)までにお申込みください。

◇自学ツールとして「電話対応技能検定(もしもし検定)3・4級公式問題集〈第3版〉」が販売されています。「試験情報と出題傾向」「重要問題と解説」「実力診断テスト」-----。

過去に出題された重要問題を丁寧に解説。

テキストで学習し過去問題を解くことで、電話対応に必要な知識を身につけることができます。

詳しくは ユーザ協会ホームページ<http://www.jtua.or.jp/publishing/>

※2017年12月発売 1,728円(税込)

◇4級資格者が、合格(認定)日より2年以内に3級を受験する場合は、3級受験に必要な受験講座15時間の内8時間分を免除し、7時間以上の受験講座の受講が必須、実技試験のみ(筆記試験免除)

なお、1～3級資格との違い等は日本電信電話ユーザ協会ホームページを参照願います。

<http://www.jtua.or.jp/education/moshimoshi/>



次回の4級試験予定(広島会場のみ)平成31年4月3日(水)

※もしもし検定4級試験を、企業・事業所、学校等で団体受験することをご希望される場合は、出前検定試験にも対応させていただきますので相談ください。

但し、検定試験日は原則、毎月第一水曜日、13時からとさせていただきます。

本件に関するお問い合わせは

(公財)日本電信電話ユーザ協会 広島支部 TEL 082-226-2795 福田・三浦

E-mail: hiro01@jtua.or.jp 広島支部ホームページ: <http://www.pi.jtua.or.jp/hiroshima/>

電話応対技能検定(もしもし検定)4級 受験申込書

(試験日:平成31年2月6日)

送信FAX番号 082-226-2796 申込締切日:1月11日(金)

受験会場	広島会場	
事業所名・住所	事業所名	
	住所 〒	
協会名 いずれかに○	一般	・ 会員(地区協会)
ふりがな 申込者名		
ふりがな 連絡責任者	FAX TEL	
検定料のお支払い (領収書等宛名) 該当に○	1. 現金(会社宛) 2. 現金(個人宛) 3. 請求書(会社宛) ※一般の方は、現金でお願いします。	

※記載いただいた個人情報等は、本検定試験の運営目的以外には使用致しません。

※FAXによる申し込みを受信した時点で、折り返し確認の電話をさせていただきます。

FAXを送っていただいた後、ユーザ協会から確認の電話がない場合、お手数ですがその旨お電話いただきますようお願い致します。

集合時間・場所等については、別途FAXでご連絡いたします。

4級合格者が3級を受検する際の筆記試験免除並びに講習免除について

■筆記試験免除について

「4級の合格書」を保持している者は、合格日より2年以内に3級を受講・受験出来る。

この場合、3級の筆記試験は免除される。

但し、2年を経過いたしますと、4級合格者であっても、新規3級受検者と同様、筆記試験と実技試験を受験して頂きます。

■講習免除について

4級資格保持者には、次により授業科目を免除する。

4級の資格保持者は「電話応対技能検定」3級に必要な科目15時間以上の内、

7時間以上の項目の補習を受けることにより3級資格の試験を受験することが出来る。

但し、2年を経過いたしますと、「電話応対技能検定」3級に必要な科目15時間以上の講習が必要となります。